

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 令和6年度 当初予算概要
- 4 特集 令和6年度 市長戦略に基づく予算編成 戦略から実動へ
- 6 令和4年度 財務書類を公表します
- 8 職員募集
- 9 こども家庭センターを設置
生活福祉総合センターを設置
- 10 高齢者在宅福祉サービス
- 11 第9期介護保険事業計画の介護保険料
- 12 やってみよう 市民活動
- 13 令和6年度の高齢者バス・タクシー
利用助成券
犬の登録と年1回の狂犬病予防注射
は飼い主の義務です
- 14 フォトグラフ
- 16 第7回深良用水まつり
TOYOTA GAZOO Racing
- 17 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子・市長戦略最前線

表紙 Front cover



春の訪れ

三寒四温を繰り返してから、春の訪れを感じる季節になりました。西安寺の河津桜に止まったメジロと葉桜が素敵です。

広報特派員 原 久子



第38回国民文化祭連句の祭典 ジュニア部門で文部科学大臣賞を受賞

石川 侑空さん、高橋 隆聖さん、小柴 勇登さん、
大森 真帆さん、相坂 紬生さん、

東中学校の3年生が第38回国民文化祭（いしかわ百万石文化祭2023）連句の祭典ジュニア部門で最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。「まさか自分たちが選ばれるとは思っていなかったのうれしかったです」と小柴さんは話しました。

連句とは五七五と七七を一定の規則に従って交互に重ねる文芸です。作品は裾野市宗祇法師の会が行った中学校連句授業で作られ、5人の生徒と連句の進行役のさばきが句を詠みました。「家族のだんらんだんらんのときにストーブに仲良く集まる場面を思い描いてストーブを人気者と見立てました」と相坂さん。「前の人の句との繋がりが不自然にならないようにする部分が大変でした」と高橋さん。「季節の言葉や前の人の言葉を意識しながら5人みんなで協力して作ることが楽しかったです」と石川さん。「違う考えを合わせて作る連句

と一人で作る俳句の違いが感じられました」と大森さん。

力を合わせて作品を作りあげることが、連句の楽しさという印象を受けました。

■表合わせ六句「人気者」の巻

捌さばき 鈴木千恵子

ストーブや期間限定人気者（相坂 紬生さん）
来てくれるかなサンタクロース（石川 侑空さん）
TWICEの日本公演楽しみに（大森 真帆さん）
恋する乙女の心揺さぶる（高橋 隆聖さん）
二人きり秘密のデート花が舞う（小柴 勇登さん）
蝶飛び回る鮮やかな森（執筆）



susonobito No.58